

独立行政法人国際交流基金日本語国際センターの
海外日本語教師研修接遇業務の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

独立行政法人国際交流基金日本語国際センターの海外日本語教師研修接遇業務（国際航空券手配業務及び国内接遇業務）を行うもの。

契約期間：平成 25 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの 2 年間

2. 実施状況に関する評価

- 包括的に達成すべき質として設定された以下の項目すべてが達成。
 - ア 安全の確保
 - ・業務の不備に起因する研修実施中の人身事故又は物損事故の発生がないこと。
 - イ 業務継続の確保
 - ・業務の不備に起因する研修の中断がないこと。
 - ・業務の不備に起因する研修参加者の来日遅延により、プロジェクト開始の遅延、妨げがないこと。
 - ・業務の不備に起因する重大な手配漏れにより、研修の円滑な遂行の妨げがないこと。
 - ・センターとの連絡が取れず、業務実施に関する必要な対応が取れない事態が発生しないこと。
 - ウ 快適性の確保
 - ・研修参加者に対して実施するアンケートの各設問について、80%以上の回答者から「満足」または「やや満足」の評価を得ること。
- 民間事業者からの提案に基づき、業務知識・経験の豊富なスタッフ 1 名をセンターに常駐させる体制で業務を行っており、業務の効率性が高まり、また、緊急時対応の迅速化が図られている。

3. 実施経費に関する評価

平成 25 年度の実施経費：95,846 千円（税抜き）の内訳は以下の通り。

国際航空券手配業務 ： 38,302 千円

国内接遇業務 ： 57,544 千円

国際航空券手配業務を除いた国内接遇業務の経費の実施経費を対象に、平成 22 年度の受託業者と締結したエスコート料、運営管理費等の契約単価に基づき、平成 25 年度に実施した業務数量で試算した額 60,146 千円を平成 25 年度実施経費と比べると 2,602 千円（4.3%）の経費が削減。

4. 今後の事業について

本事業は、実施状況が良好であり、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成 26 年 3 月 19 日官民競争入札等監理委員会決定）Ⅱ. 1.（1）の基準を満たしているため、今期をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。

以上